

た。2022年、94歳の大往生  
だつた。レイさんは「祖母は気  
丈に、前向きに生きた」と語る。

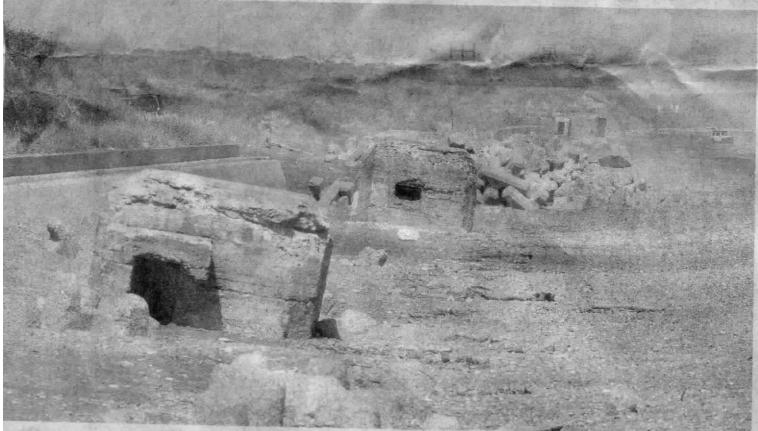
#### ◇切り絵で歴史伝承

書道や墨絵をたしなむ昭子さ  
んを見て育ったレイさんは芸術  
家になった。日本人移民の歴史  
について調べるうち、第2次大  
戦時に約4000人の日本人が  
強制収容・送還された悲劇を知  
る。多くはサトウキビ栽培や真

珠養殖に従事していた。

移住の中心地だった北東部タ  
ウンズビルで、レイさんは6月

7月、日本人移民をテーマに切  
り絵展を開催。真珠養殖の過酷  
な潜水労働などを和紙で繊細に  
表現した。レイさんは「歴史を  
知るだけでなく、感情で受け止  
めてもらいたい」と次世代への  
伝承に意欲的だ。(タウンズビ  
ル=豪州=時事)



北海道大樹町の海岸に残された  
日本軍のT-chenches。T-chenchesは  
4×6㍍の長方形。コンクリート  
製の内部は数人が入れる広さで、  
対敵のための小窓「銃眼(じゅう  
がん)」が設けられている。太平洋  
戦争末期の1945年、米軍の上陸に  
備えて造られ、道内で発見された

T-chenches 101基のうち、26基が同  
町に現存する。日本建築学会北海  
道支部歴史意匠専門委員会の小野  
寺一彦さん(67)は「T-chenchesは80  
年の風雪、高波の浸食によって地  
中から姿を現した。日本で戦争が  
あったことを伝えてくれる貴重な  
遺跡」と話した

## 戦争の歴史を 伝えるT-chenches

北海道大樹町